

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 458 号	氏名	宋 寧
学位審査委員	主 査 田口 尚 副 査 李 桃生 副 査 酒井英樹		
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 精子形成過程におけるヒストン H3 修飾の変化と生殖細胞の分化段階での関連を明らかにするために、マウス精子形成過程でのヒストン H3 アセチル化、メチル化並びにリン酸化による修飾動態を免疫組織化学的に検討したものであり、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 ICR マウスの精巢を用い、ヒストン H3 の化学修飾の検出には、9、18、23 番目のリジンのアセチル化に対する抗体、4、27 番目のリジンのトリメチル化に対する抗体、10 番目のセリンのリン酸化に対する抗体を用いて、マウス精子の各分化段階での発現を免疫組織化学的に検討したものであり、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ヒストン H3 修飾と DNA のメチル化が、精子分化過程の特異的なパターンを形成していることを示すものであり、クロマチンの変化におけるエピジェネティックな制御要因として関与していることが示唆され、精子形成機構に新たな知見を示したものとして高く評価される。			
以上のように本論文は精子発生生物学の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			